

上田市教育委員会10月定例会会議録

1 日 時

令和4年10月20日(木) 午後3時00分から午後4時17分まで

2 場 所

上田市役所202・203会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	峯 村 秀 則
教育長職務代理者	北 沢 秀 雄
委 員	森 田 小 百 合
委 員	大 久 保 恵 子
委 員	木 口 博 文

○ 説 明 員

小野沢教育次長、児玉教育参事、山賀教育総務課長、宮原教育施設整備室長、長田学校教育課長、上原生涯学習・文化財課長、久保田人権同和教育政策幹、武捨第二学校給食センター所長、星野中央公民館長、大森川西公民館長、金田上田情報ライブラリー館長、小林丸子地域教育事務所長、松木真田地域教育事務所長、山寄市立美術館長、古平文化財保護担当係長、清水課長補佐兼スポーツ推進担当係長、松澤スポーツ推進担当係長

1 あいさつ

昨日あたりから天気が非常に安定し、青空が綺麗に見える。移動性高気圧が日本列島をすっぽりと覆い、今朝は雲一つない快晴であり、そのおかげで、今シーズン初めての霜を見た。深まりゆく秋を感じている。中学校では、秋の文化祭がほぼ終わり、いよいよ中学三年生は進路を決めていく段階に入る。そういう時に少し心配なのは、不登校であった中学三年生。高校に行きたいと思っている子を、どのようにサポートしていったら良いかというのが今の私の悩みである。そのようなことで、季節も二学期も世の中も進んでいる。

なお、本日の事務局の出席者については、お手元の座席表のとおりとなる。城跡整備の和根崎政策幹は、お父様が御逝去され、本日が葬儀ということで欠席となっている。それから、スポーツ推進の櫻井課長は都合があり、欠席となっている。それぞれの課からは、代理の者が出席していること御承知いただきたい。

それでは、協議に入る。

2 協議事項

(1) 上田市立美術館協議会委員の委嘱について（市立美術館）

○資料1により山寄市立美術館長説明

上田市立美術館の事業運営については、市長部局へ補助執行しているが、人事に関することは含まれていないため、教育委員会へお諮りするということである。

上田市美術館協議会は、博物館法第21条及び美術館条例第15条に規定されており、美術館の運営に関し、諮問に応じ、調査・審議するための機関として位置づけられている。任期は2年間で、2年前の令和2年に初めて委嘱し、今回は初めての改選となる。委員の人数は条例では10人以内とされているが、交流文化芸術センターの運営協議会の委員数と同数の8人とさせていただいている。この間、協議会委員の皆さまには、美術館開館からの事業評価を行っていただき、令和3年3月に今後の運営方針を定めていただいた。その方針に基づき、施設使用料等の金額設定の検討や、適正な施設利用のあり方について協議いただき、この9月議会で美術館施設使用料等の条例改正が議決され、令和5年4月1日からの施行と決定されたところである。こうした状況を踏まえ、条例改正の影響を見守っていただくためにも、今回の委員の改選が基本的には同じ方に継続していただきたいと考えている。ただし、事情により、継続できない方がお二人いらっしゃり、その方については、新たな方にご就任いただきたいというものである。

では、候補者の名簿をご覧いただきたい。団体推薦のお1人目、金井典子さんですが、前任の武田敦子さんが人事異動で、上田市外に赴任されたため、継続は難しいとのことであるので、上小美術研究会会長に相談したところ、実際に教育現場に関わっていらっしゃる方がよいということでご推薦をいただいている。次に、個人依頼のお1人目、有賀覚さんであるが、前任の土屋健治さんが人事異動で関連会社の代表取締役社長に就任され、信毎文化事業財団評議員を辞されている。そのため、その後任である有賀さんにお願ひし、文化事業への助成を実施し、県内全体の文化事業等を把握している立場からのご意見を頂戴したいと思っている。その他の方については継続である。今回、公募枠については、応募者がいなかったため個人依頼に切り替え、前回の公募で就任されている伴美佐子さんに継続していただきたいと考えている。なお、10月13日に審議会等附属機関の委員選考会にもお諮りしており、本日お認めいただければ、後日、教育長から委嘱いただく予定である。

峯村教育長

お2人の方、新たに入っていたらどうかという案を発表していただいた。団体推薦の金井さん、個人依頼の有賀さん、このお二人について、候補者に上げていただいたが、委員になっていただいてよろしいか。

○全員同意

(2) 上田市公民館運営審議会委員の委嘱について（中央公民館）

○資料2により星野中央公民館長説明

上田市公民館運営審議会については、社会教育法及び上田市公民館条例に基づき、公民館における各種事業の企画・立案・事業内容の評価、今後の公民館のあり方等についてご審議いただくために、9公民館ごとに設置をしている。現在の委員の任期が今年10月30日で満了となるため、新たな委員の方を委嘱したいというものである。任期については、委嘱の日から2年間ということで、新たな委員の方の任期は、令和4年10月31日から令和6年10月30日までを予定している。定数及び委嘱数については、公民館条例で「公民館ごとに委員5人程度をもって組織する」とされていることから、各公民館で5人の委員を選考している。また、委員選考の考え方については、公民館条例で「委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する」とされていることから、こうした観点を踏まえて、上田市校長会や住民自治組織、地域協議会等からご推薦をいただいた方や、社会教育関係等の分野の学識経験者の方を委員として選考しているものである。各公民館運営審議会の委員の方の氏名等については、記載のとおりである。

峯村教育長

各公民館の公民館運営審議会委員の候補者を挙げていただいた。10月30日からお務めいただきたいとの案である。各公民館の委員の皆さんのご提案いかがか。

○全員了承

(3) 上田城跡の発掘調査について（生涯学習・文化財課）

○資料3により上原生涯学習・文化財課長説明

上田城跡の発掘調査について和根崎政策幹が欠席のため、私から説明させていただく。まず、今回の発掘調査については、武者溜り整備事業に伴う遺構の現状確認のため、旧市民会館駐車場一帯、現在のアスファルト敷となっているエリアであるが、その駐車場一帯で発掘調査を実施したいというものである。また、今回の調査結果については、市民会館解体工事に係る搬入、搬出ルートを選定の参考とすること、また、更に武者溜りの石垣等の復元整備に向け、位置、規模等の参考データとしたいというものである。それでは、調査の概要についてご説明する。

調査期間は、来月11月8日から12月22日までの45日間、約一か月半の期間を予定している。実施体制としては、生涯学習・文化財課を事務局とした直営により実施し、担当する学芸員は、和根崎政策幹を主担当とする。調査方法は、国の史跡内の発掘調査であるため、遺構の保全を最優先とし、幅1メートルの試掘溝による調査とする。開発で失われる遺跡の記録保存とは異なり、史跡内では遺構の現状保存が原則であることから、このような方法をとっているところである。別紙図面をご覧いただきたい。トレンチ調査、いわゆる試掘溝に

よる調査は、幅1メートルの試掘溝を12本掘削し、石垣の存在が予想される範囲においては、平面的に掘り下げていく調査を行う。この掘削により、石垣の基礎等が確認された場合には、その周辺を平面的に掘り下げて、遺構の状況を確認したいと考えている。江戸時代の絵図、信州上田城絵図等をもとにした推定では、図の「A」と「B」と白いラインで囲まれている部分であるが、このエリアの部分で、石垣の基礎が残っている可能性があるため、この場所を中心に平面調査を行う予定である。ちなみに図面の中で、石垣のところに「高さ一丈二尺」と記載されているが、一丈は10尺、一尺は33cmということであるので、その石垣、また土塁の高さについては約4メートル弱ということになる。

それでは、資料3にお戻りをいただきたい。発掘調査に係る事業費は543万円である。こちらについては、市内遺跡試掘調査の事業費全体であるが、このうち国庫補助金として事業費の50パーセントが補助対象となるので、271万5千円を国庫補助金として見込んでいくところである。最後に今回の発掘調査に当たっては、発掘現場を公開し、見学出来るようにすること、また、調査の成果によっては、現地説明会を開催するなど、様々な方法や媒体を利用し、広く市民の皆さんに城跡公園の情報発信をし、上田城跡整備の機運を図っていきたいと考えているところである。

峯村教育長

発掘調査の今後の方向について説明をいただいた。ご意見等ありましたらお願いしたい。

大久保委員

資料中「その他」の「城跡整備の機運醸成を図る」というのが、とても良いと思う。11月8日から12月22日までの間ということであるが、もし希望があれば、学校の社会見学など、そういったことを受け入れていただきたいと思う。

上原生涯学習・文化財課長

子どもたちにも知ってもらう機会として大切であると思うので、作業成果を踏まえながら、そのような場を設けられればと思っている。

峯村教育長

他にはいかがか。

森田委員

市民の皆さんや、県外の皆さんもかなり関心があり、人々が集まる可能性が大いにあるのではないと思う。時期的にも紅葉の時期と重なるので、見学者が多く集まることが想定されると思う。駐車場などに関してはどのように、対応を考えているか。

上原生涯学習・文化財課長

確かに市民の皆さんのほかに観光客の皆さんも多くいらっしゃる時期である。先ほど説明した見学ルートを設定し、発掘している作業を見られるルートを作りながら、見ていただきたいと思っているが、ここを目的にどれだけお客様がいらっしゃるかということもあるが、駐車場の関係などは、公園管理事務所や観光課、都市建設部と調整をとりながら進めていきたいと思う。

峯村教育長

他にはいかがか。

木口委員

この工事に関して、騒音はどの程度なのか把握しているか。

古平文化財保護担当係長

騒音に関してだが、着工の直後はアスファルトを剥がすためのアスファルトカッターを使用するということと、トレンチを掘る際に使用する重機の騒音が想定される。その騒音のレベルについては詳しく伺っていないが、いずれにしても工期中、ずっと騒音があるという訳ではない。アスファルトを剥いでしまえば、あとは、作業員による手堀りなど細かい作業になるので、大きな迷惑がかかるわけではないと想定している。

峯村教育長

他にはいかがか。

それでは、今のような内容で発掘調査をしまいたいと思うが、よろしいか。

○全員了承

3 報告事項

(1) 令和4年度重点目標の中間報告について（教育総務課）

○資料4により山賀教育総務課長説明

市全体として、部局ごとにその年度で取り組むべき重点目標というものを設定しており、教育委員会としても、3月の定例教育委員会で委員の皆さんにもお諮りをし、今年度5つの重点目標を設定して現在取り組んでいる。今回、半期が過ぎ、例年中間報告をするということで市長部局に対し報告をしたので、その内容についてご報告をさせていただく。

資料4をご覧ください。表形式になっており、まず、重点目標一つごとに重点目標を横書きにしている。一番左側の列が、その具体的な重点取り組み項目を記載している。それに対して真ん中の列が期限、数値目標等を記載しており、「こういう目標に向かって年間を通して取り組みを進める」ということである。今日は、一番右の列の進捗状況、進捗度の列について、先ほどお話をさせていただいた、半期の目標達成度合いを記入しているので、内容を記載の担当課ごとに説明をさせていただく。なお、右の上に各部局の「自己評価」というところが5つの目標ごとにあり、表の上に「評価基準」とあるが、一重の○は「目標どおりの進捗」ということで、概ね順調に進んでおり「全ての5つの目標に対して一重の○」との評価をしている状況である。

長田学校教育課長

学校教育課では、大きな1番、重点目標「上田市教育支援プラン」の推進を挙げており、重点取り組み項目といたして、大きく3点、①「確かな学力の育成」②「全ての子どもに寄り添う支援」③「豊かな心と健やかな身体の育成」を掲げ期限・数値目標等を記載させていただいている。会議の開催、研修等の実施を踏まえ、一番右側、「進捗状況」であるが、年間当初に計画したスケジュールの、今のところ進捗状況である。記載のところ、統一が取れていないところがあるため、少し訂正をお願いします。進捗状況①(1)①「授業を語る会の実施」を“開催”に。今回中間報告を行うに際して、会議等は確かに研修等実施している。後期

に向けて、これらの取り組みが現状のままで良いのか、特に2点、(1)②M I Mについては、導入から今年度6年目を迎える。取り組み状況については、学校によって導入に差があるが、6年目を迎えたということで、小学校6年生を対象にアセスメントを実施したい。いじめ、不登校などについては、スクリーニング会議等を開催したり、ソーシャルワーカーの研修会を開催しているが、やはり不登校、長期欠席の在籍率が高止まり状況である。こちらについても、先ほど教育長からありましたように、中三の皆さんがこれから高校受験を迎えて、どのようなことが出来るのかという点、しっかり課内の中で検討をし、事業としてはしっかり取り組んで計画的にいきたいと思うが、その内容等しっかり指導主事の先生方と協議していくという形で後半取り組んで参りたいと思う。

山賀教育総務課長

続いて、1の1④「学校給食施設の計画的な整備」、⑤「小中学校のあり方の検討」の進捗状況を申し上げる。まず、④の学校給食であるが、施設につきましては第二学校給食センターの改築事業、現在建設工事を継続している。また、厨房機器につきましては9月に契約を済ませ、予定どおり納めていただくような発注をしている。(2)については、アレルギー対応についてである。新しい第二学校給食センターでアレルギー対応食を提供するための対応指針の作成に向けて現在情報を収集し、策定に向けて準備をしている。また、来週の土曜日に食物アレルギーの講演会を開催するのに合わせ、広報でアレルギーの対応策、また併せて講演会の周知を行ったところである。⑤小中学校のあり方の検討については、中学校区の基本方針の説明会の実施、一箇所、丸子中学校区とあるが、前期は西内小学校の統合ということで取り組んで参り、先ほど協議会でもご説明したように基本方針と合わせ、丸子中学校区での開催をした、という実績である。また、小規模化の著しい、今まで学校という表現で来ていたが、西内小学校については、令和6年4月に丸子中央小学校との統合を教育委員会として決定したというところが、今回の中間報告ということになる。

宮原教育施設整備室長

続きまして、2の「重点目標、安全・安心な教育環境の整備」ということで教育施設整備室から発表させていただく。具体的な重点取り組み項目の、まず①「第五中学校改築事業」であるが、今の現状であると、実施設計の方は、ほぼ予定どおり進行している。工事の方は仮設校舎建設であるとかこの他に仮設剣道場の新築とか、上野が丘社会体育館の改修、テニスコートの整備ということでこちらの方も、業者と打ち合わせをしており、校舎は11月末に完成予定としている。解体工事の方であるが、業者の方もすでに決まっている。

続きまして②の「中学校屋内運動場照明LED化事業」ということで、こちらは真田中学校の体育館を行っている。こちら6月に業者を決め、年度内に改修が終わる予定である。今の状態であると、学校と打合せをし、部活等の状況があるので、年末に一気に工事を進めるといように打合せは進んでいる。③であるが「学校施設の適正な営繕の実施」ということで、7月末の豪雨災害が学校の方にもあり、小学校5校と、中学校2校、こちらの方も早急に対応しており、今、工事が進んでいる。その他の営繕箇所について、いろいろ学校の方から連絡いただき、緊急なものであれば、早急に対応しており、現在順調に進んでいるところである。

上原生涯学習・文化財課長

続いて、重点目標の3「文化遺産の保存・継承・活用」についてである。具体的な重点取組項目として4つ掲げている。まず、「上田市文化財保存活用地域計画」の策定に向けた取

り組み。2として「文化財の保存と活用」。3として「史跡上田城跡整備事業の推進」。4として「郷土の歴史、文化、先人・偉人の業績等を知る機会の創出」とさせていただいている。これに対し、進捗状況である。まず、上田市文化財保存活用地域計画については、以前の教育委員会でご報告させていただいたように7月22日に文化庁の認定を受けることが出来、その認定を受け、住民説明会に向けてのまず計画書、冊子及び概要版の準備を進めているところである。次に2番の文化財の保存の活用については、文化財の指定登録の推進、また、文化財の積極的な活用ということで、重点取組項目を掲げている。それに対し、文化財の指定登録については、新規登録に向けた調査として、8件の物件について実施をしているところである。また、文化財の積極的な活用については、東山古墳群、また、10月に安楽寺ということで、2回、文化財 de 文化祭を開催したということである。また、日本遺産の活用として、6月から7月にかけて3回のガイド育成講座中級を開催したところであり、引き続き、ため池等に関する補充調査を実施しているところである。次に、3の史跡上田城跡整備事業の推進について、まず、保存活用計画の策定ということで、6月にコンサルに業務の発注を済ませ、現在、計画本文を策定中である。また、武者溜り整備事業については、11月の発掘調査に向けて準備を進めているところである。また、武者溜りの基本計画測量また費用対効果の分析業務について、8月に業者への発注を済ませ実施しているところである。3つ目、櫓の復元的整備に向けた調査検討ということで、史跡上田城跡整備専門家会議を開催、9月27日に今年度第1回目の会議をオンラインにより開催をしているところである。4つ目の、郷土の歴史、文化、先人・偉人の業績等を知る機会の創出として、まず、郷土ゆかりの先人・偉人顕彰事業として、ふるさと先人館での特別展示ということで、6月に赤松小三郎の特別展の開催、また、「出張どこでも先人館」ということで、今年度については、公民館や、その他イベントでの4回の開催に向け準備をしているところである。郷土の歴史、文化、人物等をテーマとした展覧会や講座等の開催については、市立博物館、信濃国分寺資料館において、企画展の開催、各種講座の開催をしているところである。最後、発掘した文化財等の活用ということでクジラ類の化石の展示、活用について、現在クリーニングの作業中ではあるが、情報発信や作業中における展示、情報の公開なども、関わって下さっている技術者の方と検討中であり、年度中になにかしらのことを、市民の皆さまにお知らせする機会があればと思っている。次に、4ページ目をお願いする。重点目標の4として「生涯学習の推進と学習環境整備」についてである。具体的な重点取組項目として6項目がある。まず、「上田自由大学運動等の顕彰による生涯学習推進」、2つ目として「地域とともにある学校づくりの充実」、3つ目として「人権尊重の精神が日常的に発揮できる人権同和教育・啓発の推進」4つ目として「青少年の健やかな成長を支援する取組」、5番として「公民館事業の充実」、最後6番であるが、「図書館サービスの充実」を掲げている。こちらについては、それぞれ担当からご説明したいと思う。まず、「自由大学の顕彰事業については、今年度はアフター大会の位置づけで市民団体と連携し、自由大学100周年記念フォーラムを開催するというところで、事前学習、これまで3回修了してきたところである。フォーラム本番が11月13日に開催予定としているので、そちらの準備に向けて取組んでいるところである。2番目の地域とともにある学校づくりの充実については、学校支援ボランティアの活動推進のための活動紹介として、ホームページの周知、また、引き続き情報収集をして、随時紹介をしていきたいと思っている。また、コーディネーターに関する研修については、コロナの関係もあり、個別実施をしたほか、ただ今、コーディネーターの交流会を企画しており、それに向けコーディネーターにアンケート調査をしているところであり、開催に向けて準備をしているところである。3番については、後ほどご説明をするとして、4番、「青少年の健やかな成長を支援する取組」については、自然体験活動として2回開催してきたところである。1つ、川遊

びの体験事業を企画したところであるが、コロナの感染レベルが高い時期と重なり、中止した経過がある。

久保田人権同和教育政策幹

同じページの3「人権尊重の精神が日常的に発揮できる人権同和教育・啓発の推進」において、当初の目的として、各種人権啓発団体が行う啓発事業の実施として、講演会、研修会を実施することとさせていただいた。それに対する中間報告として、6月9日に上田市マルチメディア情報センターで実施した「企業人権教育連絡会定期総会」にて講演会を開催し、会員企業の人権担当者等の皆さまにご参加いただいた。

星野公民館長

5「公民館事業の充実」について。記載のとおり、3つの項目について取り組んでいるところである。上半期の取組の実績については、一番右の列に記載のとおりである。まず、(1)オンライン講座の開催については、新型コロナウイルスの感染レベルが高い等の理由により、集まって講座を開催できない場合には、YouTube等のオンライン形式を活用して講座を開催した。9公民館で計26回の講座を行ったところである。また、(2)分館に対する相談窓口の設置については、新型コロナウイルスの感染警戒レベルが高い等の理由で地域の分館活動が制限される中、各分館からの事業の開催等の相談に対する助言や情報提供を行った。合計350件余を9公民館で対応したところである。最後に(3)公民館情報の発信の強化については、公民館報づくりの研修会に参加するとともに、月1回している館長会や主事会において、職員間で情報発信に関する意見交換を実施したところである。

金田上田情報ライブラリー館長

⑥「図書館サービスの充実」について。図書館では、(1)～(3)の項目をあげて、それについて取り組んでいる。まず(1)「電子図書サービスの導入」についてであるが、市町村と県による協働電子図書館事業がこの8月5日にスタートをした。それに向けての準備ということで、例えば受付事務や広報などについて話し合い準備を行った。10月5日現在、上田市での利用登録者数は、693人となっている。(2)「中高生向けサービスの充実」ということで、市内の各館において、中高生を対象としたヤングアダルトコーナーを設置した。小説をはじめ趣味の本、進路に関する本など様々なおすすめ本を紹介している。また、(3)「職員の資質向上」については県立長野図書館等の研修会へ参加し、参加した職員が研修結果を報告するなどして共有をしている。

清水スポーツ推進担当係長

スポーツの関係では主に3つの重点目標項目を掲げている。1つ目の「生涯スポーツの振興、スポーツを通じた地域づくりと交流拡大」であるが、市民総合体育大会などのスポーツ大会や、各種スポーツ教室、あすチャレ!事業、夢の教室事業など、ほぼ予定どおり実施できている。また、②「スポーツ施設整備計画に基づく施設整備」であるが、新テニスコートについては、6月議会の議決を受け、予定どおり整備を進めているところである。また、新体育館の整備については、今、城跡体育館がある西部地域から災害時の避難場所について、地域の課題になっているというようなお話があり、城跡体育館は整備計画では移転の方針であるので、そういったことを西部地区の皆さんに説明をした。体育館は防災拠点という役割を担う施設でもあるので、そのような観点も含め引き続き整備について検討を行っていく。また、スケート場については、令和5年度をもって廃止する方針であることを、全ての地域

協議会、また、地元である豊殿まちづくり協議会に報告を行った。(4)の新しい施設整備ニーズへの対応であるが、特に要望の多かったスケートボード場について古戦場公園内に、ほぼ使われていない駐車場があるので、そこをネットで囲い、スケボー広場として開放をした。次に③「国民スポーツ大会を見据えた環境作り」であるが、競技力向上対策のための補助金を13団体に、全国大会等出場奨励金を26件交付いたした。また、7月以降、国民スポーツ大会会場予定地の中央競技団体視察受け入れを行っているが、中央競技団体の方からさまざまな角度から、主に施設整備についてのご要望であるとか、意見をいただいている。それを踏まえた施設の整備、また運営というのをこれから検討していくことになる。

峯村教育長

それでは、各部局の自己評価、全て○がついている。これも含めてご意見があればお出しください。

北沢委員

感想、要望、そして質問である。報告事項であるから、ここで意見交換などは求めない。

感想であるが、まず、何度も要望してきたことだがやっと読みやすい報告書になった。項目ごとに横に読んで読みやすい内容になっているので、大変ありがたい。そして誤字脱字もない。初めてである。素晴らしいと思う。非常に読みやすくて良い。

それから要望であるが、表記の仕方、文章の最初の数字のふり方について。左の①確かな学力とあって、(1)の下にまた①がある。①の中に①があるのはおかしい。公用文の表記で言うと、もしこの表を書くのであれば、一番左側、ローマ数字でIである。その次にアラビア数字の1があり、(1)があり、①があつて、ア、・である。だから、説明時に1と言われてもどの項目の1のことを言っているのか分からない。報告書の下にページも振っていないし、基本的なことはきちっとやっていただきたい。

次に内容にかかわる要望、質問である。1ページの1番の①の(1)の②、MIMにかかわって「読みの向上」とある。昨日MIMの授業を見たのだが、「読み」という表記がいいかどうか検討していただきたい。読みが中心で良いのだが、例えば、「言語力」「国語力」とか、そういう内容がかなり含まれていると私は思った。国語力や言語力というような表記になるか検討していただきたい。

次は質問になるが、給食の箇所、③一番右であるが、95.8%とか、94.7%などの数字が入っているが、一番右のところ、もし現時点での数字が分かるようだったらこれは入れておくべきである。もし分かったら教えてもらいたい。それから、一番下の真ん中、「中学校1校」とある。これは、口頭の説明では真田中とあったので入れておくべきである。

それから2ページ目、一番右の表の下から二行目、信濃国分寺。こういうところも、例えば、企画展や体験教室、講座とあるが、もし具体的に決まっているならば入れるべきだと思う。文字数が入らないということであれば、これで良いと思うが、分かるのであれば、どういう講座か、どういう体験教室かどのような企画展か、入るのであれば、簡潔に入れるべきだと思う。

それから3ページ目、真ん中、②の(1)新規コーディネーターの人数が分かったら教えてほしい。どうしてかということ、個別に実施とある。個別ということは、新規のコーディネーターが少ないということが予想できる。

すべてのページの項目の評価の○は妥当であると思う。

長田学校教育課長

それでは、学校教育課からである。この①(1)①気付かず申し訳ございません。それでは、食育の関係であるが、毎日、朝食を食べる児童生徒の割合ということで、全国学力学習状況調査の回答である。目標とすれば、令和3年度、記載の数値を上回ることを目標にしているが、もうすでに実施された調査であり今年度の数値は出ている。記載の方にはないが、口頭で申し上げる。小学校6年生95.8%でこちら変わっていない。中学校3年生93.6%、1.1%減ということになっている。学校教育課は以上である。

上原生涯学習文化財課長

新規コーディネーターの個別の実施状況ということで、人数ということでご質問をいただいたが、ただ今数字を持ち合わせていないので、また後ほどご報告をさせていただきます。

峯村教育長

そのほかは、ご要望ということで承りたいと思う。
他にはいかがか。

森田委員

この期限・数値目標というのは年度のもの。年度末に数値目標を達成しているかどうかということなので、現時点の中間報告ということで、最終目標値に対して現時点この程度進んでいるのだと分かりやすい表記として、何割や何%だとか、または、棒グラフや横棒グラフなどで、目視で進捗状況が、ぱっと見て分かるような表記のされ方であると良いのではないか。

峯村教育長

別個の内部資料ということでよろしいか。

森田委員

そうですね。そこに一緒に記載してもよろしいかと思う。

峯村教育長

この様式というのは、全部局で統一されているのか。

山賀教育総務課長

そうである。市全体で「部局ごと、このシートを」という指定であるので、進捗度が何割ということではなく、個別に数値化できるものはする。というようなことである。なかなか度合いを示すのも、テーマによっては数字で表記しづらいということもあり、文言で表記ということで現在は行っている。

森田委員

非常に報告資料が多いので、関係者だけでなく、一般市民にも分かりやすい資料になると思うので、市全体としての提案としてさせていただきます。

峯村教育長

また、今後参考にさせていただきます。
他にはいかがか。

大久保委員

直接こちらの報告とは関係のないことになってしまうかもしれないが、1の③「豊かな心と健やかな身体の育成」で「朝食を食べている生徒の割合」であるとか、「食に関する実態調査」というところにもあるが、各校それぞれ食育への取組をしていると思う。真田中などだと、今度の月曜日に自分でお弁当を持って学校へ行くとか、そういった取組がある。これとは直接関係がないかもしれないが、そういった活動の内容みたいなものが分かる機会があるといいなと思った。あと2番の、五中の改築事業だが、学校訪問に伺ったときに、授業中は重機の音をさせないような配慮をさせていただいたり、すごく子どもたちに配慮をした工事がなされているなという感想を持った。これで、工期を遅らせないようにするなど大変かと思うが、今後もこのような形で進めていっていただきたいと思う。これは感想である。それから、先ほど北沢委員からのお話にもあった、内容が、もし字数に余裕があれば、少し簡単でも良いから内容を書いて欲しいとお話あったと思うのだが、④の自然体験活動がどういった内容のものなのか、簡単に分かってありがたいなというように思った。それから、⑥の図書館サービスの充実について、電子図書サービスの導入で、上田市の利用登録者数が693人ということなのだが、これは他市町村と比べて多いのか、少ないのか。そのあたりが、分かってありがたい。

上原生涯学習・文化財課長

これまで青少年の健やかな成長支援の取組として、自然体験活動ということで、これまで2回、6月5日と7月9日に開催してきている。6月5日は親子外遊び広場ということで、「グングン身体で遊ぼう」ということで、市民の森で、体を使い動かす外遊び体験活動を開催している。7月9日については、暑いシーズンになっており、のびのび川遊び体験教室ということで、千曲川、浦野川の下流、道と川の駅広場を活用しながら、そこでのカヌーの体験だとか、自然観察会ということで、体験活動を実施したところである。前期とすると、その2回そういう活動を行った。あと、一回は、内村川で川下りを予定していたが、コロナで中止をさせていただいたということであった。

峯村教育長

続いて、金田館長、693人、他の市町村はどのような様子か。

金田上田情報ライブラリー館長

10月5日時点では、県全体で7,468人となっている。市町村別では、長野市が一番多く、2,011人、次いで上田市の693人と、なっている。続いて松本市が512人、佐久市・千曲市と続く。

大久保委員

では、上田市は、多いということ。

金田上田情報ライブラリー

そのとおりである。

峯村教育長

上田市は人口は3番目であるが、2番目である。

北沢委員

人口が違うので単なる数字では比べられない。

大久保委員

でも、興味をもっていただいているのかなと、あとやはり周知であるとか、広報活動の成果も出ているのではないかと思う。

峯村教育長

それから、大久保委員から出された給食に関する活動についてであるが、また時期を見て、分かる範囲でお願いします。

他にはいかがか。よろしいか。

○全員了承

(2)「文化財 de 文化祭」の実施報告について(生涯学習・文化財課)

○資料5により上原生涯学習・文化財課長説明

令和4年度文化財 de 文化祭について、この度計画した事業を完了したので、その実施状況についてご報告をいたしたいというものである。今年度1回目は、東山古墳群がある、いにしへの丘公園において7月に“まりこふん”によるコンサートを実施した。当日、普段入ることのできない石室に、入っていただくなど、古墳を直接に触れていただく体験などをしていただき好評をいただいたところである。

ただ、当日、途中から雨降りとなってしまい、予定の内容は短縮しての開催となったところである。第2回目は10月、安楽寺において、月影ひとみさんによる朗読とコンサートライブを実施したところである。記載の通り安楽寺にある文化財の紹介をさせていただき、魅力に触れていただいたほか、今回、自由大学に関わりを持つ、高倉てるが、作詞に関わったとされる「別所小唄」という民謡があるが、現在、その譜面が残っておらず、歌われることのない民謡となっていたが、今回、別所温泉の芸奴さんが昔お座敷で唄っていたという録音・音源があり、このコンサートに合わせ譜面を起こしていただき、その曲を月影ひとみさんに披露をしていただいた。今回、地域独自の文化が復活し、地域文化の魅力に触れていただくなど、貴重な機会となったところである。いずれにしても、今回、木造の本堂という異空間での特別な時間を体感でき、参加者から好評をいただいたところである。今回このような文化事業を通し、文化財や伝統文化を後世に残していくために、保存・継承し、そしていかに活用していくか、その意識醸成をしていくことで参加者である市民の皆様と共有できるのではないか、その点、この事業の成果として捉えているところである。

峯村教育長

ただ今の報告についていかがか。よろしいか。

○全員了承

(3) 第15回九度山世界遺産マラソンの参加について(スポーツ推進課)

○資料6により清水スポーツ推進担当係長説明

九度山世界遺産マラソン参加事業についてご説明させていただく。九度山世界遺産マラソンは、上田市の姉妹都市である和歌山県九度山町で開催されているマラソン大会であり、上

田市からは 10 回大会の際にランナーを派遣し交流を深めている。今回は 15 回大会ということで、前回の 10 回大会の時と同様に上田市民ランナーを派遣し、姉妹都市間の友好関係向上を図っていきたいと考えている。主催は、前回と同様に九度山世界遺産マラソン参加事業実行委員会を組織し、10 名程度の市民ランナーを募集し、市のバスで参加するという内容になる。実施日や募集方法、参加費等については記載のとおりである。

峯村教育長

参加費 1 万円であるが、交通費、宿泊代、食事代はどうなっているのか。

清水スポーツ推進担当係長

食事は自己負担になる。交通費は市のバスになるので無料である。

峯村教育長

わかりました。

ただ今の説明についていかがか。

大久保委員

16 日に、真田町で真田町一周駅伝というものをしたが、そのときに九度山町からのチームが参加してくださった。こういった交流は進めていっていただきたいと思う。

峯村教育長

大勢募集をしてください。

木口委員

どのように募集されるのか。

清水スポーツ推進担当係長

来月号の広報うえだと市のホームページへ掲載する。また実行委員が各種スポーツ団体の方で構成されているので、それぞれ所属のスポーツ団体に周知をしていただくといった方向で募集をかけるようになる。

峯村教育長

これはフルマラソンであるか。

清水スポーツ推進担当係長

ハーフマラソンである。

峯村教育長

他にはいかがか。よろしいか。

○全員了承

峯村教育長

それでは、以下(4)～(7)までは説明はないが、お手元の資料でご不明な点等あればお出しください。

木口委員

「行事共催等の申請状況について」のところの資料なのだが、要望としてお願いしたい。「申請趣旨」のところ、内容が書かれているものもあれば、目的が書かれているものもある。意外とここは表記的に統一されていないと感じた。申請書類に申請趣旨というのがある、そこに書かれているのをそのままここに写しているという形になるのだろうか。

上原生涯学習・文化財課長

私どもの方で受け付けている内容については、申請書類に基づき申請趣旨をそのまま記載させていただいている。申請時に内容を確認させていただきながら、ここに書いていく内容の趣旨が、同じような内容になるように受付時点で確認をしてみたいと思う。

峯村教育長

スポーツ推進課も同じでよろしいか。

松澤スポーツ推進担当係長

申請書の内容をそのままこちらにお伝えさせていただいているので、同じように、受付時に確認をしていきたいと思う。

木口委員

この行事を開催する目的、そして後援を依頼する目的、そういったものがはっきりしていると判断をしやすいと思う。例えばであるが、1枚目の2つ目にある「平和文化講座」という行事の名称で、講座なので誰かが講師をされるのだと思うが、この代表と書かれている方が講師をされるのか、それとも別の方が講師をされるのか。今いろいろと問題になっていることと言えば、代表者だけではなく講師になる人がどういう人なのかというところで、後援にふさわしいかどうかという判断が出来ると思う。その辺が書かれてあると、私たちも見て分かりやすいと思う。

峯村教育長

今後、そういう内容まで分かるようであれば、この様式を少し変えながら報告してもらえればありがたい。
他にはいかがか。

北沢委員

資料8の「寄付の状況について」であるが、今回寄付の内容がすべて「防犯カメラ一式」である。企業、団体等に「寄付する場合は防犯カメラにしてほしい」と教育委員会からお願いしているのか。

長田学校教育課長

今回こちらの防犯カメラの設置事業については、自動販売機の会社、ダイドードリンコの社会貢献活動というところに賛同する企業が、防犯カメラを寄付するものである。防犯カ

メラを設置していきたいということは、学校教育としても目的は同じなのであるが、こちらの方から防犯カメラに特化してほしいということをお願いしているわけではない。今回ダイドードリンコさんの寄付のスキームに協賛してくれた企業の皆さまから、ご寄付をいただいているという状況である。特にこちらから企業に対し、防犯カメラ寄付してほしいということをお願いしているわけではない。もしほかの目的で寄付したいというのであればお受けする。

峯村教育長

この事業は、上田警察署も絡んでいる。市内の小中学校の防犯上、警察としても、ぜひ進めてもらいたいということで、ダイドードリンコさんと同じ目的で行っている。

県下でも警察と企業がタイアップをし、このような事業を起こしているのは大変珍しく、上田市を先進的な地域にしたいという警察の要望もある。

他にはいかがか。よろしいか。

○全員了承

峯村教育長

それでは、「その他」何か、事務局から

上原生涯学習・文化財課長

ご質問と、ご要望をいただいた件でお答えをさせていただく。先ほど、青少年の方で事業の内容をご説明したが、今回、博物館の方もかかっているので、ここで内容をご説明したい。市立博物館の企画展示としては2回予定しているが、1回目は、7月から9月にかけて開催した、「上田祇園祭とまちづくり」という企画展である。2回目は先日の定例教育委員会でもご説明いたした9月から11月にかけての「仙石忠政入封400年 叶うのか、7つの櫓の復元」ということで博物館では展示をしている。国分寺資料館においては、「名勝岩鼻の里半過の遺跡」ということで企画展を、こちら4月から5月にかけて展示したところである。企画展についてはこのようなことである。

あともう一点、コミュニティスクールの新規コーディネーターのご質問をいただいた。これについては今回、学校に配置されているコーディネーターがいない学校においては、公民館の社会教育指導員がそのコーディネーターの役割を担っている学校もあり、今回、公民館の職員で、異動で新しく着任した指導員に対しての研修ということで3公民館の職員に対して研修を実施したところである。

峯村教育長

他に、その他報告があれば。よろしいか。

それでは、以上をもって10月の定例会を終了する。

閉 会

教育委員会会議規則第 21 条の規定により署名する。
